

第三次大山町総合計画の検討状況について

- 1 前回までの振り返り
- 2 基本構想の策定
- 3 基本計画の検討スケジュール

1. 前回までの振り返り 大山町総合計画の概要について

大山町総合計画とは…

将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針
(大山町総合計画条例(平成25年大山町条例第27号)第1条)

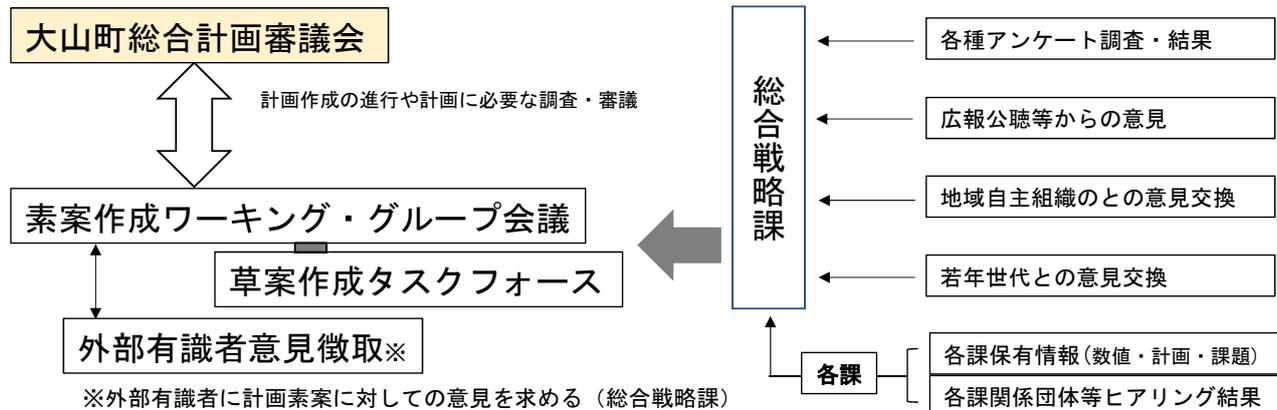
- ☞ いわゆる町の最上位に位置する計画
- ☞ 総合的かつ計画的な町づくりを推進するため策定

大山町総合計画の構成は…

- 基本構想 町づくりの基本理念であり、将来構想と基本目標を示すもの
- 基本計画 町づくりの基本的な計画であり、基本目標をふまえた施策の基本的方向及び体系を示すもの
- 実施計画 町づくりの具体的な計画であり、施策を実現するため実施する事業を示すもの

1. 前回までの振り返り 計画策定における各役割と作業について

会議体の役割と作業の分担



●素案作成ワーキング・グループ会議…計画草案を元に主に課長級の職員と外部の関係者で計画素案を作成

☞ タスクフォースで作成された草案を審議会へ供給する計画素案とするため細部の確認や意見調整を図る。

●草案作成タスクフォース…各課(ブロック)のとりまとめ役、基本構想草案・基本計画草案の作成とチェック

☞ 各課で保有する情報のとりまとめ・意見集約、左記の情報とアンケート・ヒアリング・意見交換等の基礎データを元に担当分野の計画草案をスポット的に作成する。等

3

1. 前回までの振り返り 計画策定における各役割と作業について

計画策定における考え方（テーマ）

・人口減少社会への適応策と緩和策

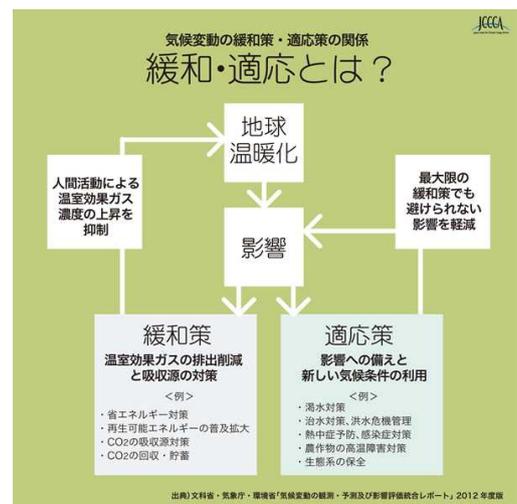
●人口減少社会が加速していく中では、
現在の行政サービスを現在の手法によって
維持することは不可能。

●緩和策だけでなく適応策の検討が必要。

- ・人口減少の進度を緩める緩和策
- ・将来人口の規模に応じた適応策

☞ 作業の視点にパラダイムシフトを持つ。

各分野の現状の課題・住民ニーズを明確に洗い出し、2040年の社会情勢を想像して、緩和できる幅と適応できる幅から2033年までの道のりを考える。



4

1. 前回までの振り返り

計画策定における各役割と作業について

計画策定における考え方（テーマ）

・ 地方分権の推進による計画行政の改革

- 地方分権改革有識者会議において、地方公共団体における計画策定等における地方の自主性・自立性の確保に関する検討が進む。（令和3年11月12日）
- 「計画策定等における地方分権改革の推進について～効率的・効果的な計画行政に向けたナビゲーション・ガイド～」が閣議決定された。（令和5年3月31日）



各府省における制度の検討等に当たって、地方公共団体に対する新規の計画策定等の抑制や既存計画との統合など効率的・効果的な計画行政の進め方が示された。

👉 各課所管の計画等の現状整理と統廃合等の検討し、各種計画等の一体的策定や総合計画との一体的策定・位置づけにより施策の効率的な実施や評価、計画業務のスリム化などを図る。

法令等により策定する必要がある計画等の最新の根拠条文等の確認し、今回の総合計画策定に併せて整理と統廃合等を検討する（具体は別途）。

5

1. 前回までの振り返り

計画策定における各役割と作業について

計画策定における考え方（テーマ）

・ 総合計画策定過程への住民参画

- 町民アンケート調査（評価）…第二次総合計画の評価と課題を調査
- 町民アンケート調査（将来）…第三次総合計画への期待と要望を調査
- 関係団体等ヒアリング
- 地域自主組織との意見交換
- 若年世代との意見交換
- パブリックコメント・住民説明会
- 政策提言・意見を募る手段の検討…電子申請サービスでの事業募集
- 声なき声を聞くために有効な手段の検討…ウェルビーイング指標の活用

6

2. 基本構想の策定

基本構想の概要について

① 目的

将来の予測が困難な時代にも安心して住み続けられる大山町、多様性に富む時代に魅力的で住みたいと思える大山町の実現

⇒総合的かつ計画的なまちづくりを推進する指針

② 参考指標

人の数	・ 合計特殊出生率	1.95
	・ 人口社会増減	0人
	・ 将来人口	12,152人
人の状態	・ 楽しメーター(幸福度と暮らしやすさ)の拡大	
	・ 楽指数アンケートの統計的に有意なサンプル収集数	

③ 基本理念

わくわく楽しい未来につながるまち ～人と人、人と自然が紡ぐまちの豊かさ～

- ・ 希望がわく（湧く）未来や意欲がわく（湧く）未来、賑わって活気がわく（湧く）未来を想像し、暮らしにおける安心とまちの資源を活かした「楽しさ」を生み出し、まち全体に広がるわくわくする日々につながる未来に向けて、住民・団体・企業・行政が一緒にまちづくりに取り組むこと。
- ・ その際には、「人と人」「人と自然」のつながりを活かして、一人ひとり一つひとつの力を集めて織りなし、まちの豊かさを紡いでいくという理念のもとに歩みを進めること。

7

2. 基本構想の策定

基本構想の概要について

④ 基本目標

- | | | | |
|-------------|---|--------|-----------------------------|
| (1) ひとの視点 | … | 【基本目標】 | まちを愛する人であふれるまちづくり |
| (2) しごとの視点 | … | 【基本目標】 | やりがいのある仕事でにぎわうまちづくり |
| (3) 暮らしの視点 | … | 【基本目標】 | いつまでも安心安全に生きがいを持って暮らせるまちづくり |
| (4) しぜんの視点 | … | 【基本目標】 | 自然を大切に自然とともに歩むまちづくり |
| (5) つながりの視点 | … | 【基本目標】 | みんながつながりみんなに関わるまちづくり |

⑤ 計画推進のために

- (1) **協働・共創によるまちづくりの推進**
町民・団体・企業・行政が共にまちづくりに取り組む、誰もがまちに関わりを持てる、人権尊重の共生社会
- (2) **情報発信の強化・デジタル化の推進**
まちのこゝを知る機会の創出、分かりやすい行政情報の発信・共有、デジタル技術を積極的に導入
- (3) **横断的な取り組みの推進**
行政各課が連携して分野横断的に対応する取り組み、変化に対して柔軟かつスムーズな施策を展開できる体制
- (4) **質の高い行財政運営の推進**
まちづくりをマネジメントするという視点、PDCA・EBPM等の進行管理と施策評価、安定的な財政運営
- (5) **信頼される行政の実現**
行政職員の資質の向上や高い倫理観の維持、町民に開かれた行政運営、議会による行政の監視や意思決定・政策提言

8

2. 基本構想の策定

楽指数・楽しメーター（地域幸福度指標：ウェルビーイング指標）

経済的な豊かさだけでは測ることができない幸福や健康などの「生活の質」や「心の豊かさ」といった「幸福感（Well-Being：ウェルビーイング）」にも注目してまちづくりに取り組む。

「楽(たの)指数(しすう)」…幸福感（Well-Being：ウェルビーイング）を測る指標の愛称

「楽(たの)しメーター」…指標の集計結果をグラフ上に表したものの愛称

楽(たの)しメーターのカテゴリーと基本目標

- ・ 町民の生活の満足度が向上すれば楽しメーターの各カテゴリーの値が高まっていくものと考えられる。
- ・ 楽しメーターの数値が低い項目は暮らしに課題感があるところ、一方で、数値が高い項目は暮らしに満足感があるところといったように、町民ニーズの把握やまちの魅力、施策との相関関係を分析して、政策立案に役立てる。

楽(たの)指数(しすう)アンケート回答数

- ・ 町民のさまざまな声を見えるようにするためには、楽指数の継続的なアンケート調査を行い、まちづくりに反映する。
- ・ 協働のまちづくりを推進する上で、楽指数を通じて町民のまちづくりへの参加意識の高揚を図る。
- ・ 町民のまちづくりへの参加を促し、アンケート回答数の増加をめざす。

9

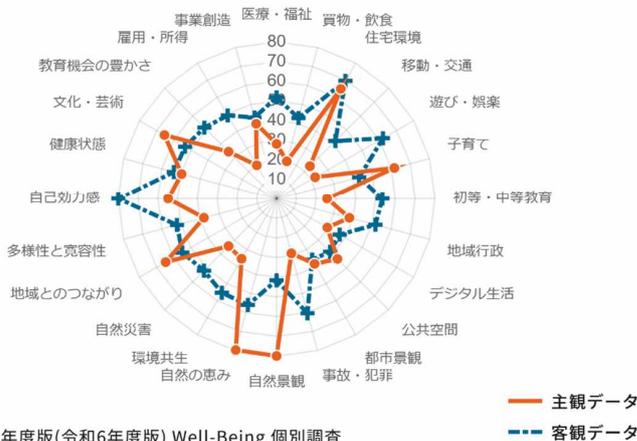
2. 基本構想の策定

令和6年度楽指数・楽しメーター調査結果（グループ④）

●楽しメーター（令和6年度（2024年度）調査結果）

回答者数：106人

カテゴリー別



幸福度・生活満足度

幸福度 6.9 / 10.0
生活満足度 6.3 / 10.0
町内の幸福度 5.8 / 10.0
周りも楽しい 3.1 / 5.0

【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

出所：一般社団法人スマートシティ・インSTITUTE「地域幸福度 Well-Being」指標
公開先：デジタル庁 <https://well-being.digital.go.jp>

3. 基本計画の検討スケジュール 令和7年度会議の見通し

●令和6年度の会議実績（基本構想）

- 7月17日 大山町総合計画審議会①
- 8月 6日 草案作成タスクフォース会議①・庁内勉強会
- 8月 9日 **素案作成ワーキング・グループ会議①**
- 11月12日 草案作成タスクフォース会議②・③
- 12月 2日 **素案作成ワーキング・グループ会議②**
- 12月25日 **素案作成ワーキング・グループ会議（書面）**
- 1月15日 大山町総合計画審議会②
- 2月28日 町民座談会
- 2月20日～3月6日 地域自主組織との意見交換
- 3月 4日 草案作成タスクフォース会議④
- 3月11日 **素案作成ワーキング・グループ会議③**
- 3月18日 **素案作成ワーキング・グループ会議（書面）**
- 3月26日 大山町総合計画審議会③
- 4～5月 基本構想(案)パブリックコメント
- 6月 基本構想(案)議案提出

●令和7年度の会議見通し（基本計画）

- 5月 8日 草案作成タスクフォース会議⑤・庁内勉強会
- 5月22・23日 草案作成タスクフォース会議⑥
- 7月 草案作成タスクフォース会議⑦
- 7～9月 **素案作成ワーキング・グループ会議④～⑥**
- 9月 有識者意見徴取
- 8～10月 大山町総合計画審議会④～⑧
- 10～11月 基本計画(案)パブリックコメント
- 12～1月 基本計画(案)議案提出(予定)

全体のフロー [＜別紙参照＞](#)

第三次大山町総合計画 策定工程

(令和7年8月8日時点)

